

きもちと文末助詞

井上 優 (麗澤大学)

masinoue@reitaku-u.ac.jp

1. はじめに

- ・日本語と中国語の文末助詞（終助詞・語気詞）は文法における役割が根本的な部分で異なるという印象がある。
- ・印象 1：日本語の文末助詞はそれ自体で一定の意味を担うが、中国語の文末助詞は文末助詞以外の部分の意味的属性と組み合わせる形で一定の意味を表すところがある。
- ・印象 2：類似の意味を表す日本語と中国語の文末助詞の意味のずれ方が似ている。

2. 印象 1：文末助詞以外の部分の意味との関係

①「確かにそうだ」という語気を表す“的”（井上 2012b）→「判断+“的”（実感あり）」

- (1) a. 明天会下雨。(明日は雨が降るだろう。)
(→「雨が降る可能性がある」ことを客観的に述べる)
- b. 明天会下雨的。(明日は雨が降るだろう。)
(→「『雨が降る可能性あり』という判断が話し手内部で実感として存在する」という個人的見解を述べる文)

(参考) 重ね型形容詞（様態のデザイン）+ “的”（実体として存在）

- (2) a. 脸圆圆的，像个皮球。(彼の顔は丸くてボールのようだ)
- b. 衣服干干净净的，穿着也舒服。(服が清潔だと着たときも気持ちよい)

②「アスペクト」を表す“了₂”“呢”（井上 2012b）→「事態+“了₂/呢”（場面）」

- (3) a. 下雨了。(雨が降ってきた。) [了：状況変化（已然）]
- b. 快到了。(まもなく到着する。) [了：状況変化（未然）]
- (4) 外面下着雨呢。(外は雨が降っているよ。) [呢：状況維持]

- ・完了の“V了₁”，状態維持の“V着”

事態が「閉じた形」「開いた形」をとっていることを表す。(→事態のデザイン)

- ・状況変化の“S了₂”，状態維持の“S呢”

事態を「変化のある場面（世界・情景）」、「変化のない場面（世界・情景）」に位置づけることを表す。(→事態を場面（世界・情景）に位置づけて実体化する。)

③程度副詞と文末助詞の相互選好性（井上 2012b）→「程度のあり方＋文末助詞（実体化）」

- ・“太”（想定以上のレベル）＋“了”（想定を超える）

- (5) a. 这个太贵了。（これは高すぎる）
b. 那太好了！（それはいい！）

- ・“挺”（満足できるレベル）＋“的”（実感あり）
- ・“怪”（気持ちがひかれるレベル）＋“的”（実感あり）

- (6) a. 那个餐厅的菜挺好吃（的）。（あの店の料理はなかなかおいしい）
b. 这只小狗怪可爱的。（この子犬はなんともいえずかわいい）

- ・“可”（自己の世界に没入）＋“了”（世界出現）／“呢”（世界保持）

- (7) (外に出ようとしている人に外の現状を指摘する)
今天外面可冷 {了 / 呢}！（今日は外はそれはもう寒いよ）

- ・“真”（実に）／“好”（なんとも）＋（“啊”（臨場感））

- (8) a. (きれいな花を見て)
真漂亮（啊）。（実にきれいだ）
b. (ややこしい状況に接して)
好复杂（啊）。（なんともややこしい）

④「誇張」の“呢”

- ・“呢”が誇張（正確には「過小評価への異議」）を表すのは、評価・レベルの意味を含む文につく場合。（“呢”が単独で「過小評価への異議」を表すわけではない。）

- (9) 门开着呢。（ドアは開いているよ。）[アスペクト]

- (10) a. 他会开飞机呢?（（ああ見えても）彼は飛行機を操縦できるんだよ。）
b. 味道好得很呢?（（こう見えても）味がとってもいいんですよ！）

（朱德熙 1982）

- (11) a. 西湖的风景才美呢！（西湖の風景こそ美しいと言えるんだよ！）
b. 他还会扯谎呢。（彼はうそまでつくことを知っているよ（そんなことをまでするとは思ってもみなかった）。）
c. 有十个人呢，坐不下。（10人いるんですよ、とても座りきれない。）

（白水社中国語辞典）

- (12) 他知道的事多着呢。（（君は彼の知っていることはそれほど多くないと思っているかもしれないが）彼の知っていることは実に多いんですよ。）

（白水社中国語辞典）

3. 印象2：類似の意味を表す文末助詞の意味のずれ

①「注意喚起」を表す「平叙文+よ」、「平叙文+啊」

日本語記述文法研究会(2003:242)

「よ」は、その文が表す内容を、聞き手が知っているべき情報として示すという伝達態度を表す。

「よ」の機能が最も端的に表れるのは、聞き手が気づいていない事態に対して注意を向けさせようとする文に付加される場合である。

・あ、切符が落ちました {よ/?φ}。

・[運転者に] 赤信号だ {よ/?φ}。ちゃんと前を向いて運転してよ。

このような例では、聞き手が知っているべき情報を示し、注意を促すという「よ」の存在は必須的である。「よ」のない文は、話し手が気がついたことを独話的に口にしたというだけで、聞き手に注意を促そうという機能が感じられない。

朱德熙(1982) (杉村・木村訳 1995:289)

平叙文と命令文に用いられる“啊”はつねに、相手の注意を喚起したり、あるいは注意を与えようとするムードを帯びている。たとえば次のような例である。

上岁数的人可不能吃那么多糖啊! [年とった者がそんなにたくさん飴を食べてはいけませんよ!]

我又不是故意的啊! [私だってなにもわざとじゃありませんよ!]

你吃啊! [きみ食べるんだよ]

・同じく「注意喚起」と言っても、「よ」と“啊”ではその意味合いが異なる。

(13) (ハンカチを落としたことに気づかずに歩いていく人を呼びとめようとして)

a. ハンカチが落ちました {よ↑/?φ}。

b. 你的手绢掉 {了/啦}。(啦:了+啊)

(14) (ハンカチを拾って落とした人のところに行き)

a. ハンカチが落ちました {よ↑/?φ}。

b. 你的手绢掉 {了/#啦}。

(15) a. あと三日あるよ。

b. 还有三天 {呢/哪}。(哪:呢+啊)

(16) (相手の耳元で小声で)

a. チャックがあいてます {よ↑/φ}。

b. 拉链开着 {呢/#哪}。

(17) (料理の注文の際に)

a. ここの餃子はおいしいですよ。あなたも注文したら?

b. 这个餐厅的饺子特别好吃 {φ/#啊}。你也要点儿吧。

- ・日本語の「Pよ」（井上 1997 参照）

その場の状況が「Pという情報が真になる」という状況であることを述べ（て、当該の情報に聞き手の注意を喚起す）る。

- ・中国語の“P啊”

話し手が「Pという事態が現に存在する」状況にいることを述べる。（話し手が当該の事態に注意を向けていることを聞き手に示す。）

②問いかけと疑念表出（井上・黄 2012）

- ・「問いかけ」の疑問文：聞き手に情報提供を要求する疑問文。
- ・「疑念表出」の疑問文：話し手の疑問を表出するだけの疑問文。

- ・日本語では、無標疑問文「～（か）？」が問いかけを表し、有標疑問文「～だろうか（ねえ）？／～かな（あ）？／～かしら（ねえ）？」が疑念表出を表す。
- ・聞き手不在の文脈、あるいは聞き手が解答を持つと想定できない文脈では、有標疑問文のみが使用可能。

(18)（時計を持っている人に）

今何時？（木村・森山 1992）

(19)（独り言で、あるいは時計を持っていない聞き手に）

a. #今何時？

b. 今何時だろうか（ねえ）？／今何時かな（あ）？／今何時かしら（ねえ）？

（木村・森山 1992）

- ・中国語では、“呢”を含まない無標疑問文は問いかけの疑問文，“呢”を含む有標疑問文は「話し手の〈はてな？〉と疑い、思い惑う気持ち」を表す疑念表出の疑問文。

（木村・森山 1992）

(20)（時計を持っている人に）

现在几点了？（今何時？）（木村・森山 1992）

(21) 田所 「君達は何がいい、僕はさっき済んだとこだが」

佐知子 「私、お腹ぺこぺこ、英良さん、何になさる？」

和賀 「何がいいかな／吃点儿什么好呢」

（砂の器／沙器：木村・森山 1992，表記一部変更）

(22) おかしいな。今ごろ何だろう？／真奇怪，现在叫我去有何公干呢？

（官僚たちの夏／官僚们的夏天，木村・森山 1992，表記一部変更）

- ・木村・森山(1992)

無標疑問文と有標疑問文の機能分担の原理は日本語と中国語で基本的に共通。

- ・井上・黄(2012)

無標疑問文と有標疑問文の機能分担の原理は日本語と中国語で基本的に異なる。

- ・日本語では有標疑問文しか使えないところで、中国語では無標疑問文しか使えないことがある。

(23) (夫と妻が誘拐されて知らない場所に監禁された。夫が不安な気持ちで妻に)

- ここ，どこだろう？ (#どこ？)
- 这是什么地方呀？
- #这是什么地方呢？ (井上・黄 2012)

(24) (久しぶりに故郷に帰って街を歩いていたら，見覚えのない風景に出くわした)

- ここ，どこだろう？
- 这是什么地方呢？ (井上・黄 2012)

(25) (時計のない場所で，時間を知る方法がなく困っている話し手が訴えるように)

- 今何時だろう？ (#何時？)
- 现在几点了呀？
- #现在几点了呢？ (井上・黄 2012)

(26) (時計のない部屋であれこれ作業をしているうちに眠くなってきた)

- 今何時だろう？
- 现在几点了呢？ (井上・黄 2012)

- ・日本語：「聞き手に情報がある」という想定に立つか（無標疑問文）立たないか（有標疑問文）。
- ・中国語：「話し手に情報がない（自分には解決不能）」という想定に立つか（無標疑問文）立たないか（有標疑問文）。（何かのきっかけで話し手が当該の問題の存在を新たに意識しただけで，「自分に情報がない（自分には解決不能）」とまでは想定していない場合は“～呢？”。）

(27)

		日本語	中国語
話し手に 情報なし	聞き手に情報あり	無標疑問文	無標疑問文
	「聞き手に情報あり」未確定	有標疑問文	
「話し手に情報なし」未確定			有標疑問文

- ・平叙文も，日本語は「聞き手情報」に関する想定（神尾 1990 参照），中国語は「話し手情報」に関する想定が，無標平叙文と有標平叙文の機能分担に関与する。

(28)

		日本語	中国語
話し手に 情報あり	聞き手に情報なし	無標平叙文	無標平叙文
	「聞き手に情報なし」未確定	有標平叙文	
「話し手に情報あり」未確定			有標平叙文

- (29) (点呼が終わり全員そろったことを確認して)
- a. はい、全員そろいました。出発しましょう。
 - b. はい、全員そろいましたね。出発しましょう。
 - c. 好，大家都到齐了。出发吧。
- (30) (点呼が終わった後，全員そろったことを再確認する)
- a. 全員そろいましたね? (そうですね?) はい，では出発しましょう。
 - b. 大家都到齐了吧? 好，那就出发吧。

- 井上優(1997)「もしもし，切符を落とされましたよ」-終助詞「よ」を使うことの意味-『言語』26巻2号，大修館書店
- 井上優(2012a)「モダリティの対照研究—日本語と中国語を例に—」『ひつじ意味論講座4 モダリティⅡ 事例研究』ひつじ書房
- 井上優(2012b)「テンスの有無と事象の叙述様式—日本語と中国語の対照—」，『日中理論言語学の新展望2 意味論』くろしお出版
- 井上優・黄麗華(2012)「「問いかけ」と「疑い」に関する言語対照」(日本語学会2012年度秋季大会ブース発表，2012年11月4日，富山大学)
- 神尾昭雄(1990)『情報のなわ張り理論』大修館書店
- 木村英樹・森山卓郎(1992)「聞き手情報配慮と文末形式」『日本語と中国語の対照研究論文集(下)』くろしお出版
- 日本語記述文法研究会(2003)『現代日本語文法4 第8部 モダリティ』くろしお出版
- 森山卓郎(1989)「コミュニケーションにおける聞き手情報—聞き手情報配慮非配慮の理論—」『日本語のモダリティ』くろしお出版
- 刘月华・潘文娛・故韡(1983)《实用现代汉语语法 增订本》外语教学与研究出版社(相原茂監訳1988『現代中国語文法総覧』くろしお出版)
- 朱德熙(1981)《语法讲义》商务印书馆(杉村博文・木村英樹訳1995『文法講義 朱德熙教授の中国語文法要説』白帝社)